

志井ファミリープール（アドベンチャープール） 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月15日（火） 16:00～18:00
- 2 場 所 北九州市役所（小倉北区城内1番1号）14階141会議室
- 3 出席者 （検討会構成員）薛構成員（座長）、長構成員、神尾構成員、横田構成員、
植田構成員
（事務局）都市再生推進部長、都市戦略局緑政課長、公園経営係長、職員

4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。

○応募団体（ACEスギナプラス共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

- （構成員） 他のレジャープールに比べて、強みや魅力、伸びしろについて教えてほしい。
- （応募団体） 現場の責任者として長年携わっているが、施設のポテンシャルは高い。政令市が管理するレジャープールということ自体も稀であり、福岡県唯一の波の出るプールを持っている。懸念は老朽化であり施設そのものから様々な設備まで老朽化は進んでいる。ただ、長年関わってくれているスタッフは多くいて、人的資源は前の指定管理者からも継承できている。
- （構成員） 現在、事業継続のための人材確保はどの業界においても難しくなっているが、その点はどうか。
- （応募団体） 監視員はリーダーとなる体育会系の大学4年生を長年継続的に確保できている。機械設備系のメンテナンスの方は長年携わっており、継続して雇用確保できている。
- （構成員） 駐車場が少ないこともあり施設へのアクセスが課題だと考える。モノレール各駅で駐車してからのモノレール利用によるアクセスなど公共交通機関との連携も必要と考えるが、その点どのように考えているか。
- （応募団体） アンケートによると80%以上が車で来場している。曾根苅田地区からのアクセスが悪いのも原因だと考えている。また、モノレールに関してはモノレールの切符と提携したフリーパスをモノレールの券売機で発売していたが、更新に多額の金額がかかるということで取りやめた経緯がある。広告等でもモノレールとは協力を行っており、フリーパスなどに関しては前向きに連携できるようモノレールと協議をする。また、駐車場は堀越キャンプ場の駐車場やモノレールの駐車場を確保している。また、自家用車に関しては、近隣への迷惑駐車対策など、できることを行っているがこれも継続する。

- (構成員) 未来を探るという理念でいろいろ取り組んでいくということは分かったが、利用者は今を楽しみたいと思いき、来園している。安全安心も大切だが、利用者にとどのような満足を提供するか、施設運営のコンセプトを教えてください。
- (応募団体) 現状、安全安心については自信を持っている。お客様はプールでの安全安心が前提で来場する。そのうえでホスピタリティが必要となる。そのための従業員教育を行っている。高齢の職員も在籍しており、監視員という職務上、注意をすることがあるが、それが入園者からすれば上から目線となってしまう、クレームになることがある。そういった事情もあるが接遇に関して従業員へ研修を重ねていきたい。
- (構成員) 市外からの利用も多いということだが、市外でどのようなPRを行っているかについて教えてください。
- (応募団体) 全国のセブンイレブンで、前売り券を販売している。昨年度は北海道のセブンイレブンで購入されたお客様がおり、全国で買えることをホームページに掲載している。下関市はレジャープールがないし、下関市の方は福岡へ来ることが多い。サンシャインプールなども競合となるが、下関市役所にパンフレットを配布するとかそういった取り組みも考えていきたい。福岡、熊本、鹿児島、下関市とは連携・割引も実施しているが、これも継続実施していく。
- (構成員) ACEとスギナプラスと共同事業体を組んでいるが、スギナプラスはPPP等を得意としている事業者だと聞いた。業務分担はどのようになっているか。また、共同事業体を組んでいるメリットは何か。
- (応募団体) 我々は大企業ではないので協力することにメリットがある。プールの営業期間はACEが主に担当しているが現場業務の負担が大きく、スギナプラスには総務労務の部分でバックヤードを担ってもらっている。営業などに関しても、事務的な部分はスギナプラスが担当している。
- (構成員) モノレールとの関係性は先ほど聞いたが、それ以外の周辺の住民や、地元団体のの方々との関係性を具体的に教えてください。
- (応募団体) 開園当時は周辺にマンションはなく、民営の駐車場が多くあった。だんだんとマンションが増えていき、病院も建った。そういった状況から周辺への対応が必要となっている。マンションには開園前の挨拶やお知らせ文を送るなどの対応を行っている。病院や周辺企業に関しては迷惑駐車に関するガードマンの警備料を負担している。また、市民センターに関しては、駐輪場に関しての配慮など、ご協力を頂いている。
- (構成員) グーグルの口コミなどから接客に課題があると思うが、従業員教育において技術よりも利用者に対する気持ちの部分の方が大事だと思う。そのあたりはどのように考えるか。
- (応募団体) グーグルが作成したものなのでこちらで主体的に管理できない部分はあるが、書き込みの内容に関しては、皆で共有している。プールの監視という業務上、強く指導することもある。たとえば高校生が煙草を吸っていて指導したら保護者からのクレームとなった場合もあった。毅然と対応することと接遇の意識、そのバランスを取ることが必要だと感じている。

(構成員) 夏季営業期間外にいろいろチャレンジングな取り組みを行っているが、次期選定期間で何を考えているか教えてほしい。

(応募団体) 令和5、6年度に関しては、水との親和性やプールの活用という方針で営業期間外の利用に組み込み、水中で動くボート型のロボット教室や、プールサイドでのバーベキューを行ってきたが、アドベンチャープールは志井公園の中にあるため、次期選定期間はグリーンパークや勝山公園のような幅広い活用を考えていきたい。例えばフリーマーケットなどのイベントを考えている。ただ、期間外利用には課題が山積している。電気やトイレの問題などに加え、落水しないように気を配る必要があるため、場所貸しなどは難しい。

(構成員) 貸借対照表を確認すると、継続性が気になる部分があるが問題ないか。

(応募団体) J V全体で見れば共同事業体の経営基盤は問題ない。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○ 構成員は、応募団体の評価レベルを発表し、構成員全員で意見交換。

(構成員) ACEスギナプラス共同事業体は、老朽化している現在の施設の状況課題を把握しており、現状に基づいた提案となっており、安定性が感じられる。

(構成員) 良くも悪くも現実的。現状の中でできることをやろうとしている。

(構成員) 夏季のプール営業期間だけでなく、期間外の利用にも課題を見据えながら前向きに取り組む姿勢が感じられた。

(構成員) 管理運営体制からプール運営事業としての安全対策に対する姿勢が評価できる。

(構成員) スタッフの行動規範を明確にして従業員教育を充実させ、レジャープールに重要なホスピタリティを高めてほしい。

○各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

1 指定管理者としての適性のうち、

(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針について

ACEスギナプラス共同事業体 4

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤について

ACEスギナプラス共同事業体 3

(3) 実績や経験などについて

ACEスギナプラス共同事業体 4

2 管理運営計画の適確性のうち、

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組みについて

ACEスギナプラス共同事業体 3

(2) 利用者の満足度について

ACEスギナプラス共同事業体 3

(3) 指定管理料及び収入について

- ACEスギナプラス共同事業体 3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について
ACEスギナプラス共同事業体 3
- (5) 管理運営体制などについて
ACEスギナプラス共同事業体 3
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて
ACEスギナプラス共同事業体 3
- (7) 社会貢献・地域貢献について
ACEスギナプラス共同事業体 3

が妥当であると決定した。

○ **事務局は地元団体に対する優遇措置を反映させたうえでの合計得点を発表。**

ACEスギナプラス共同事業体 73点

○ **構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。**

ACEスギナプラス共同事業体は、現指定管理者であり、他の市営プールの運営実績もあることから、安全で安定的なプールの管理運営が期待できる。

また、プール営業期間外の施設利用の提案もあり、市民が楽しめるレジャープールの堅実な管理運営が期待できる。

審査の結果、検討会としてはACEスギナプラス共同事業体が指定管理者の候補として相応しいと考える。

なお、付帯意見として、以下を付すことにした。

- ・レジャープールの楽しさを実現すべく、従業員一丸となって高いホスピタリティを実現すること

○ **とりまとめを行って、検討会を終了した。**